

邪神の庭



18
FOR ADULT ONLY
かみゆき

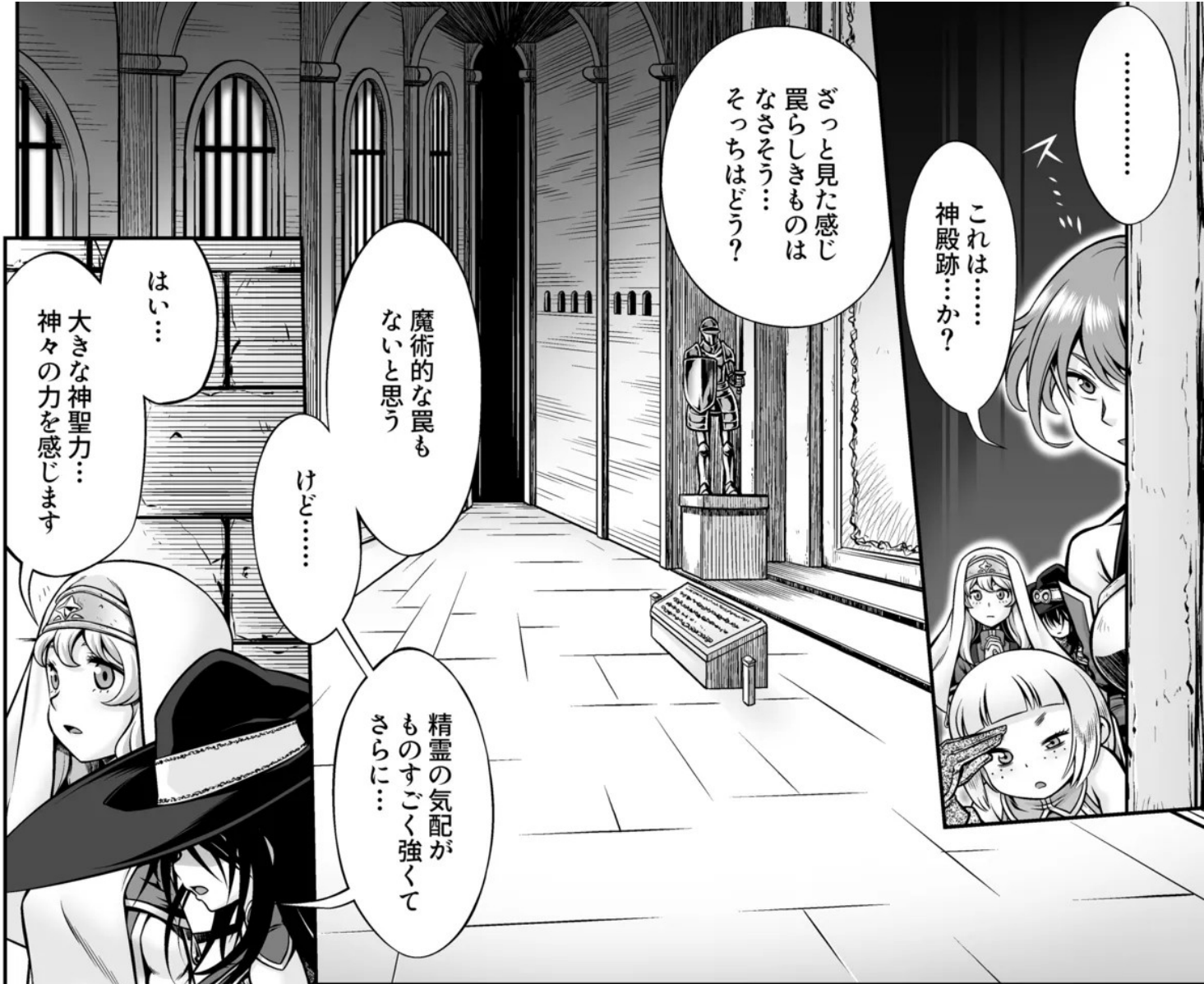
長い間
人が踏み入った形跡が
残ってないね

この先に
行くの私達が
はじめて
なんじゃない？

お宝
あるかな？

…生まれ！
奥が明るい！





.....

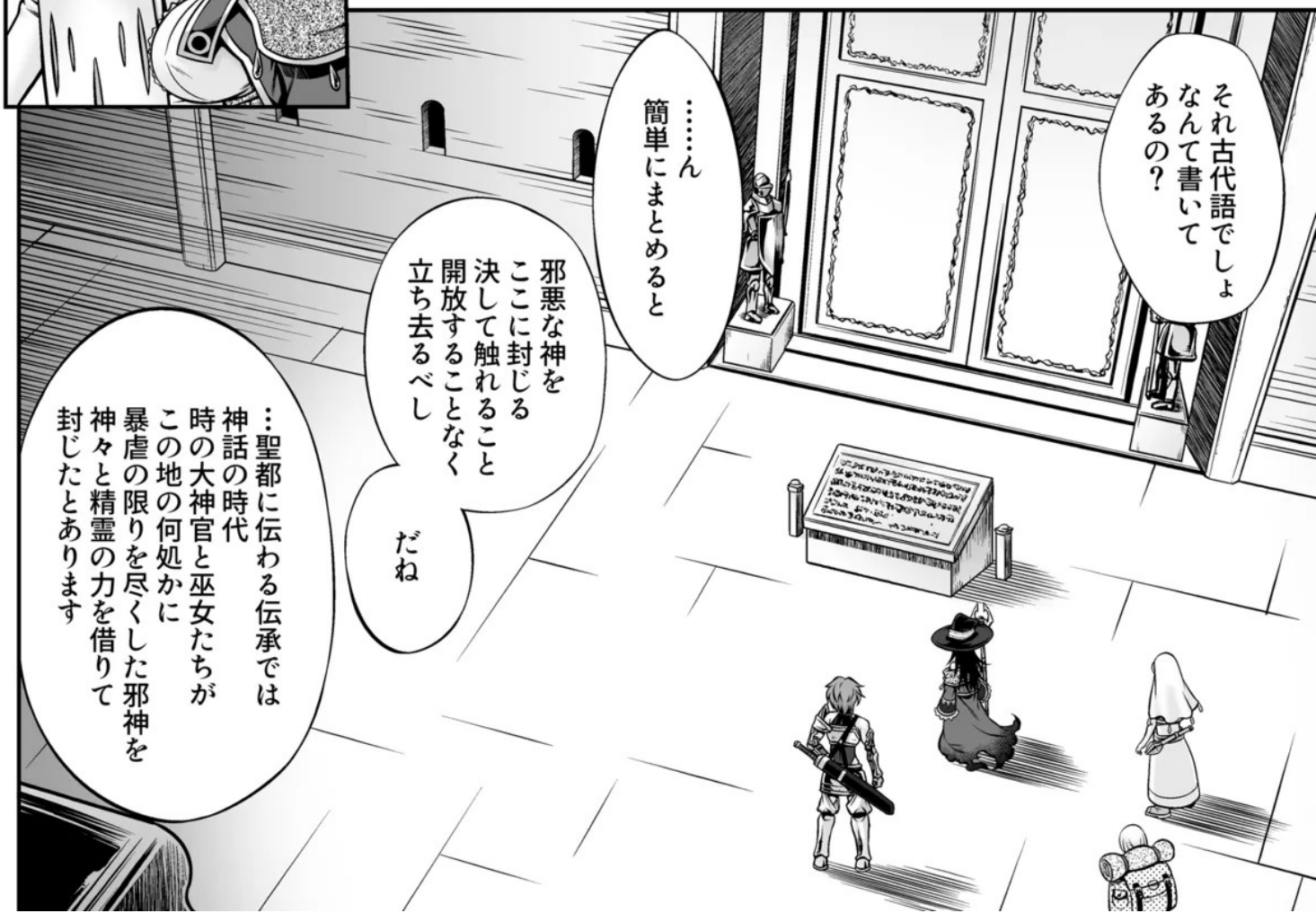
これは……
神殿跡……か？

ざっと見た感じ
畏らしきものは
なさそう……
そっちはどう？

魔術的な畏も
ないと思う
けど……

はい……
大きな神聖力……
神々の力を感じます

精霊の気配が
ものすごく強くて
さらに……



それ古代語でしょ
なんて書いて
あるの？

……ん
簡単にまとめると

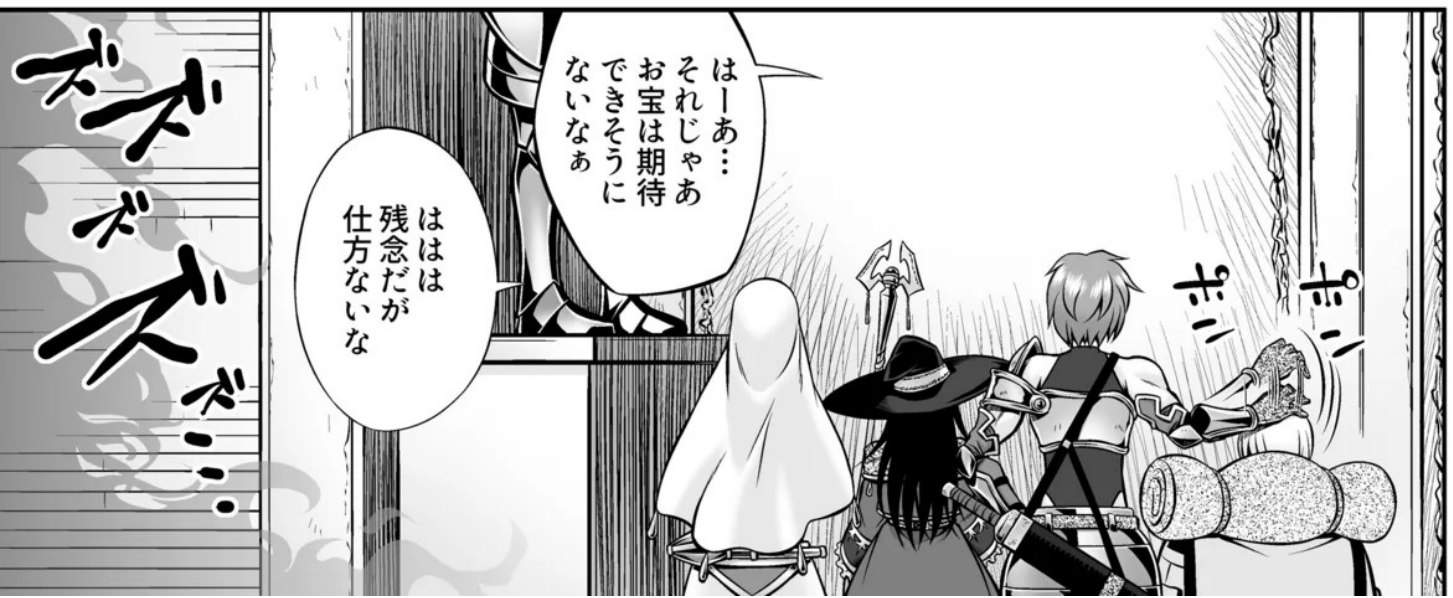
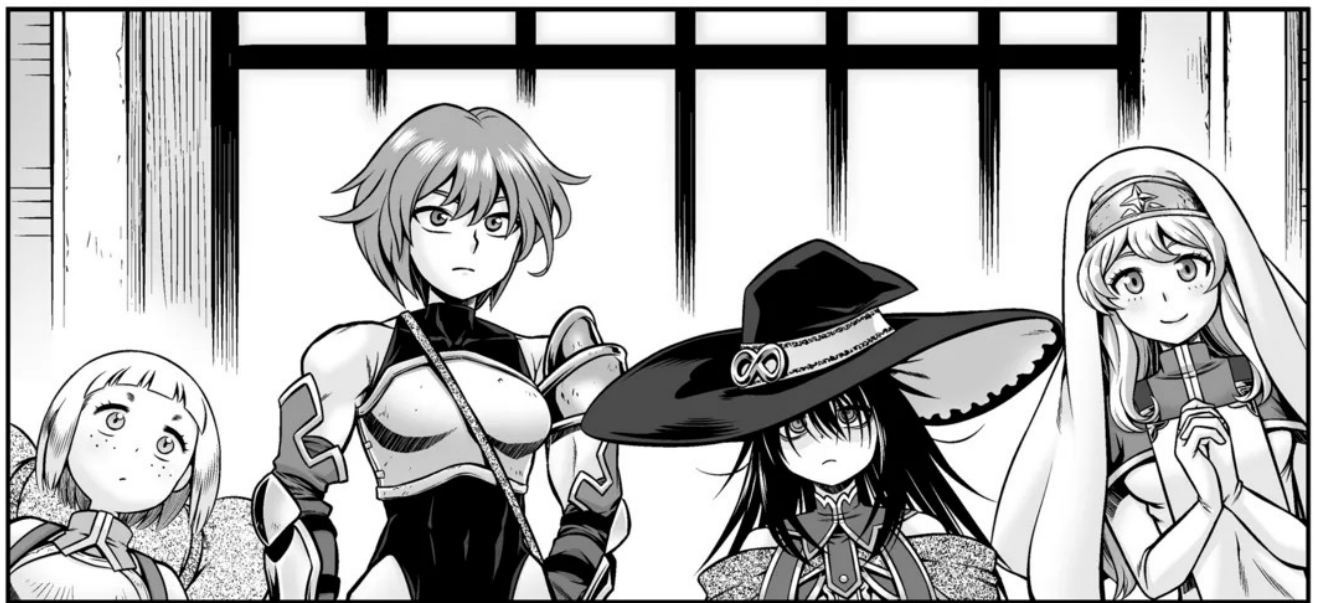
邪悪な神を
ここに封じる
決して触れること
開放することなく
立ち去るべし
だね

：聖都に伝わる伝承では
神話の時代
時の大神官と巫女たちが
この地の何処かに
暴虐の限りを尽くした邪神を
神々と精霊の力を借りて
封じたとあります





もしかすると
その件の邪悪な神が
ここに封印されて
いるのかも
しれませんね



はーあ：
それじゃあ
お宝は期待
できそうに
ないなあ

ははは
残念だが
仕方がないな

ポーン
ポーン

ポーン
ポーン
ポーン

ブズ

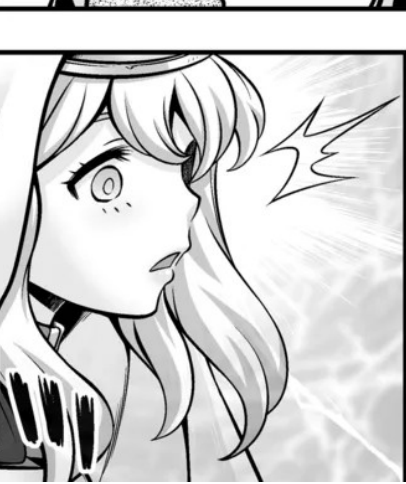
一応もう少し探ってみるか？

そうだね、掘り出し物あるといいなあ

ふふ…っ

でも私は
神秘を成した
古の偉人の業に
触れることが
できたことに
感謝しま…

あなたたちは
金に執着ないから
でしょー？





まるで異界に
迷い込んだ
かのような
強烈な違和感！

ここに
居続けるのは
危険だ！



ねえ…
今の…っ

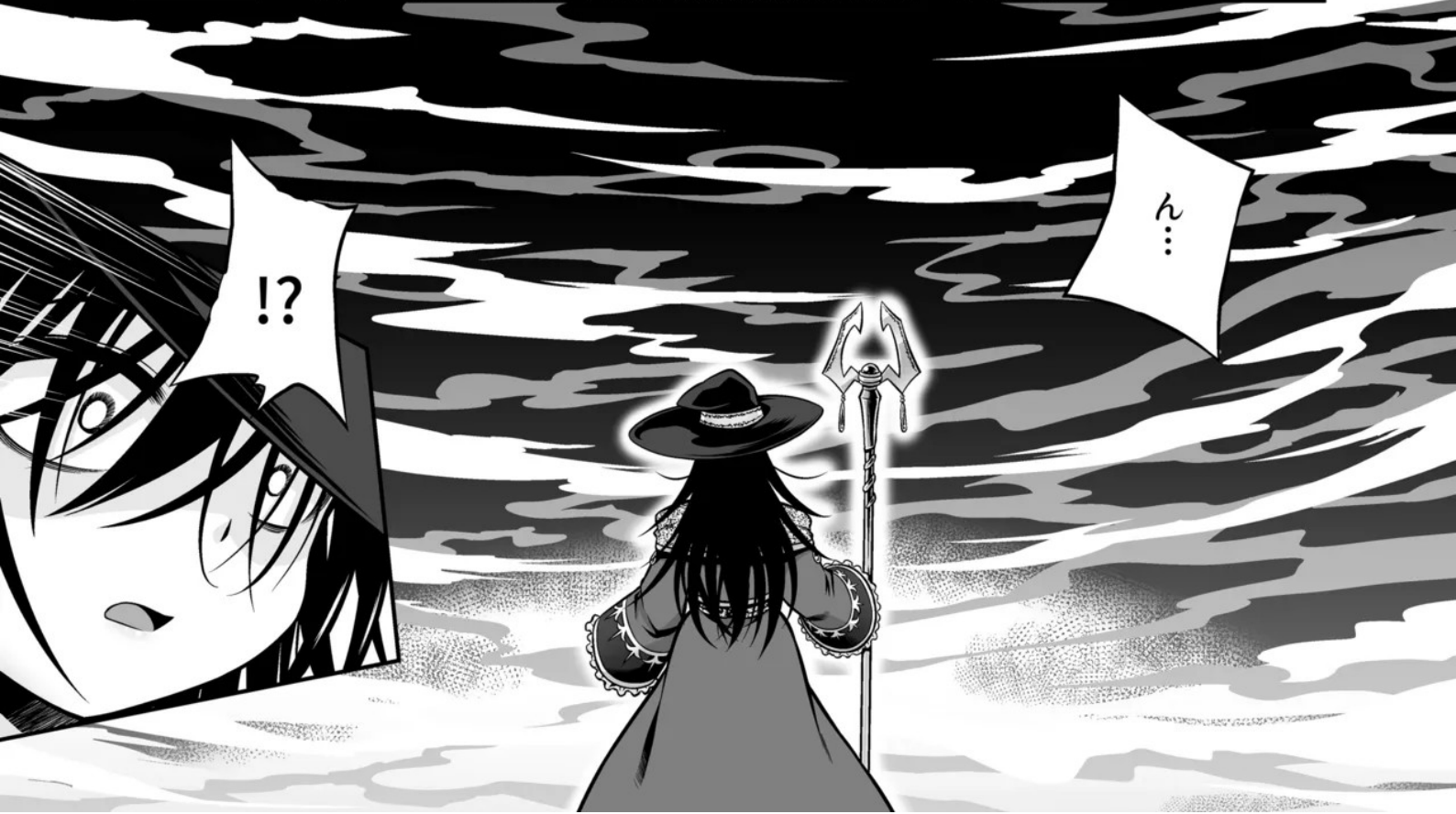
はいっ
私も得体の
知れない魔力を
感じました

どうした？



みんなっ
ここには
危険だ

この部屋から
いった…



!?

ん…



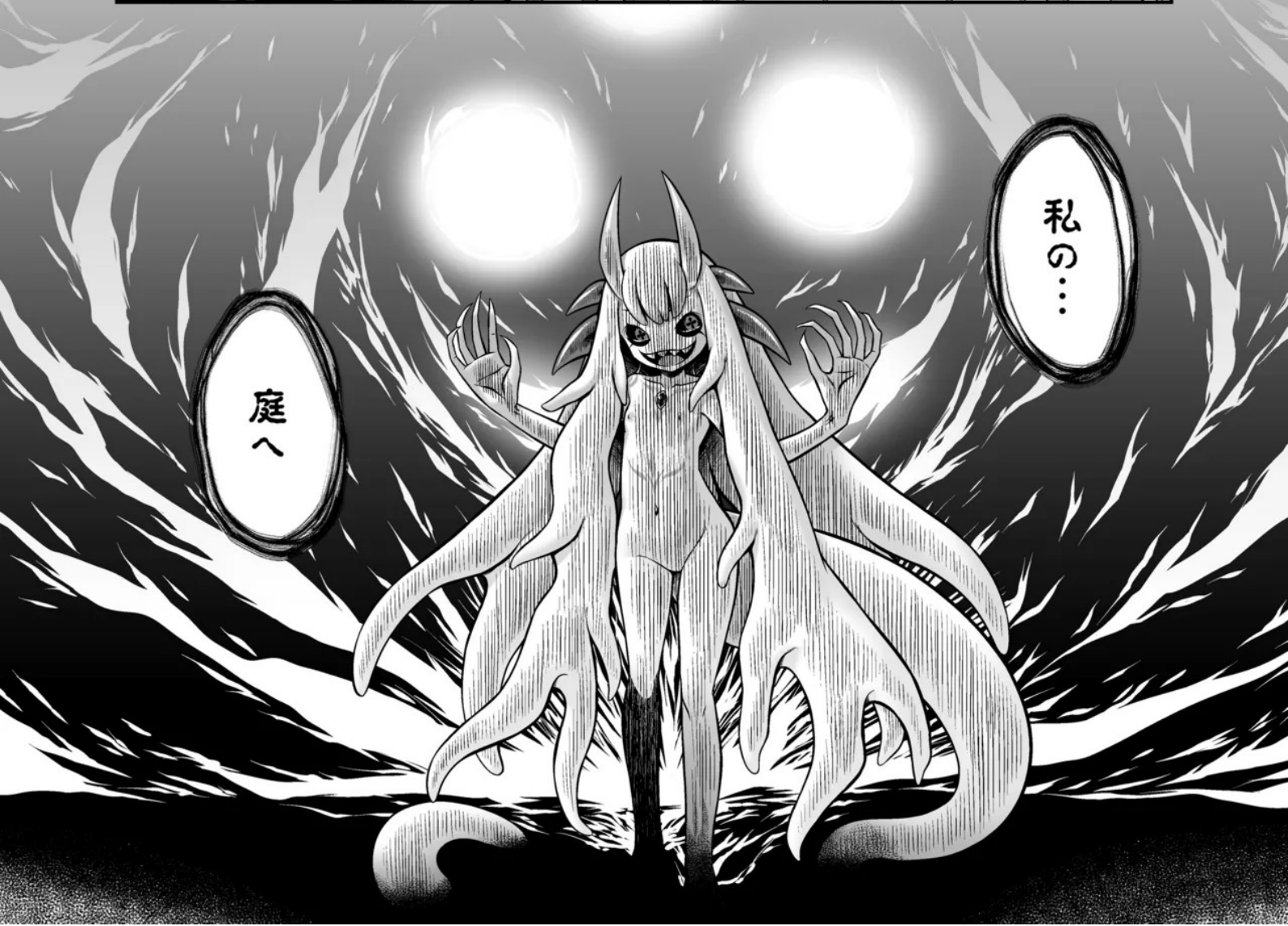
みんなは
何処へ…

ここは…っ!?

な…に…っ



うらごさう…



庭へ

私の…



いまだかつて
感じたことのない
プレッシャー
重圧……
存在そのものが
まるで巨大な
魔力の塊……!

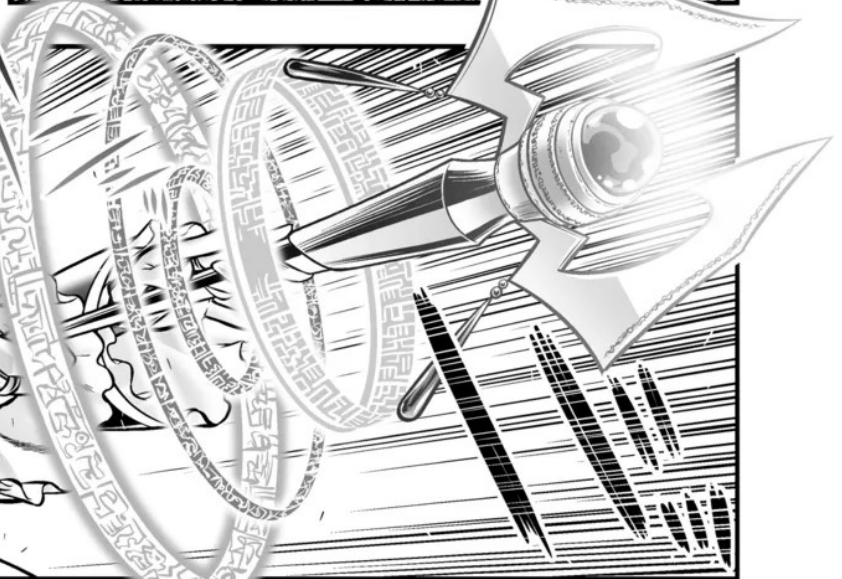
まさか……
まさかこいつが
件の邪神……!



歓迎するわよ♡



様子を
見るような
余裕はない……!



完全に舐めて
油断している今が
最大のチャンス……!
私の放てる最大の術で
一気に……



へえ……

判断はやーい
いいわねあなた

がんばってねえ
最後のチャンスかもよ?

界の境
穿て明
契約に
万物を焦土と化す爆炎よ
我が眼前の敵を焼き尽くせ!

決める……!!





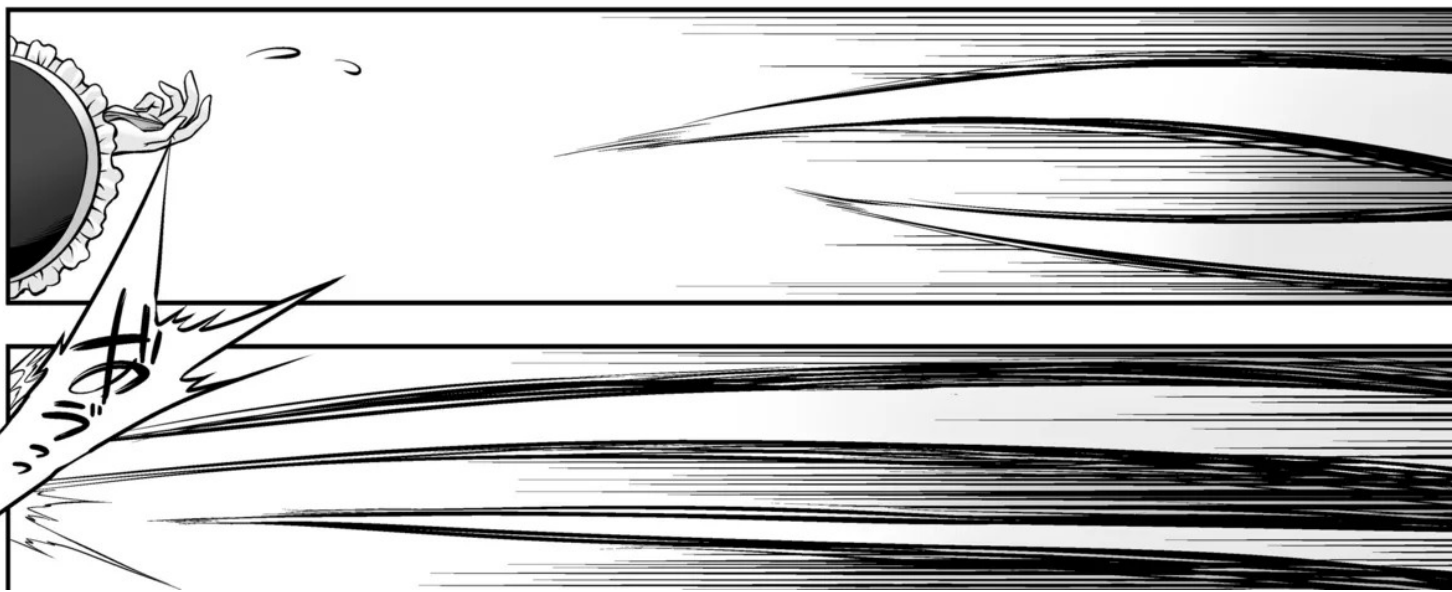


無理だ…っ
今のは私の最高の
術なのにっ
まるで通用しない
なんて…っ

ひっ



た…っ
た…っ
たす…っ





そうよお
ここは私が
作り出した
「庭」

ここにあなたの
意識と感覚だけを
引っこ抜いて
招待してあげたの

この空間では
意志の強さ心の強さが
とっても大事なのよ

うう…
うう…

あなたが術を
発動できたように
できると信じれば
そのまま結果へと
繋がるの

だからこれから
なにがあっても
なにをされても
自分を強く保って
いることね

はい
説明終わり

それじゃ
実践してみましょ



うっ!!

なっ
なにをっ
や…やめっ

!?

うっ!!



今のはなに...!!

うふふふ さあーて なんなんでしょうね?

今のを吸って... 身体が疼いたり 高揚とか しちやったり してない?

なに... なにを言ってる...



な... なに...!! 急に身体が おかしくなる

まるで攻撃 そのものよりも 今の言葉に 反応したように!!

ここは 意識と 感覚の世界

まさか...!!



...そうそう それで正解♥

なかなか 察しが良いわね



ところで さっきから 気になって いたんだけど...



あなたが なんともないと 強く信じていることが できれば 「なんともない」

そうやって 意識を強く 保てるように

なにをされても 動揺しないように 気を張っててねえ?

アッ...

あなたの
ここ…
ずいぶんと
発育が
いいのね♥

う…くっ

くっ

いま
現代の娘は
みんなそうなの？
それともあなたが
特別なのかしら？

やめ…て…っ

ずっしりっ…

う

うん

ん

こんなことを
どれだけ
されても
なんともない…！

なんでもないっ

なんでもないっ

なんでもない

なにも
感じないっ…

そうそう
いいわよ
その調子

それじゃあ…

んん…っ！

なんとも…

ヤ…ヤ…ヤ…ヤ…ヤ…ヤ…



もし生身だったら
即発狂もの
とおつても
濃ゆい媚薬よお





もって
もーっと
サービスして
あげなくちゃね

これで胸を
しゃぶり倒して
あげる♥

そ・れ・な・らあ



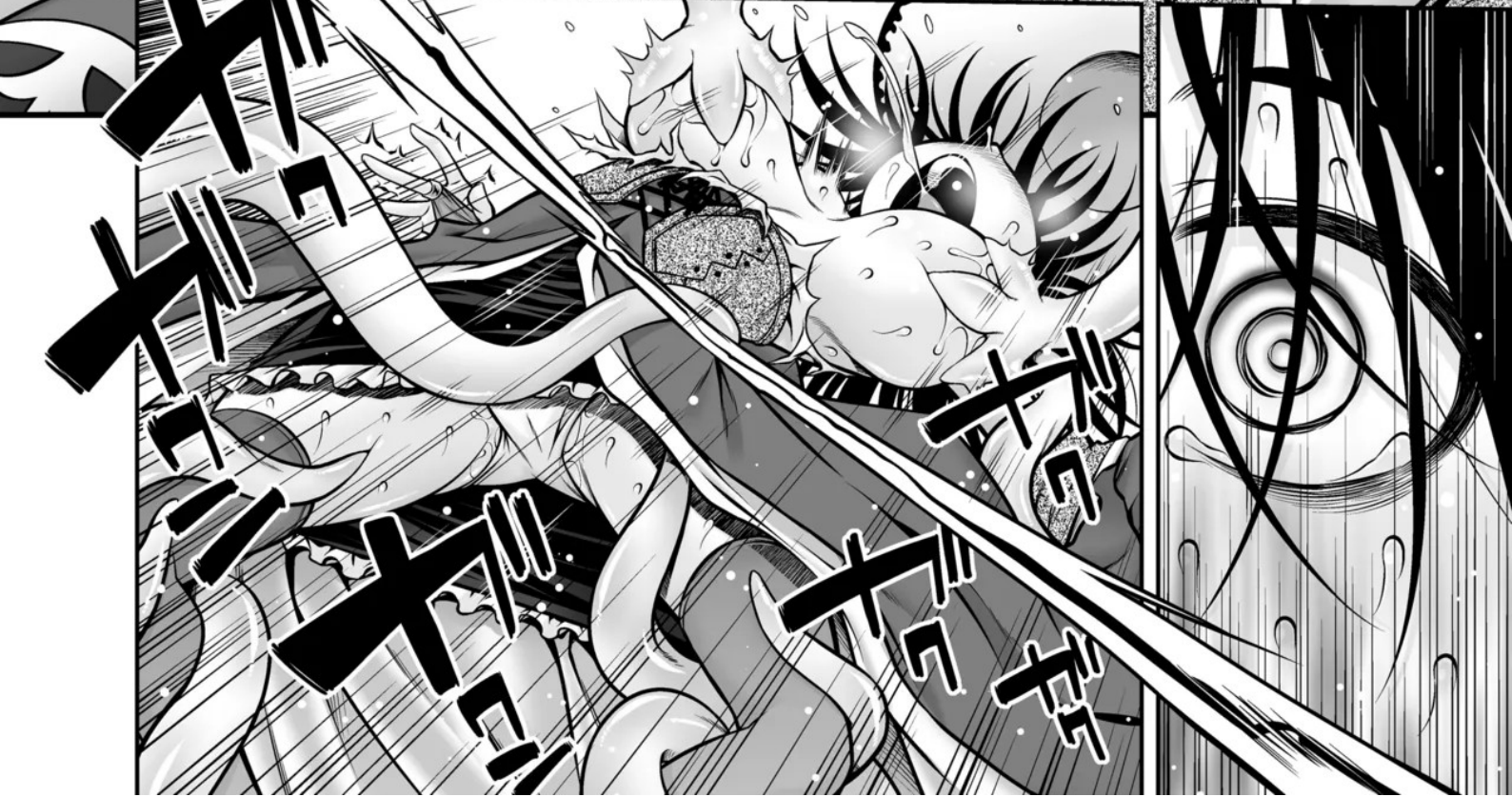
あ...

やめ...っ

うくっ

やめ...て...

やめ...っ







こんなに股濡らして期待しているなら応えてあげなくちゃね

たあ〜っぶり念入りに擦り上げてあげるわよお♥

これ・で・ね♥

ぐっ

あ...

びしょ

びしょ

びしょ



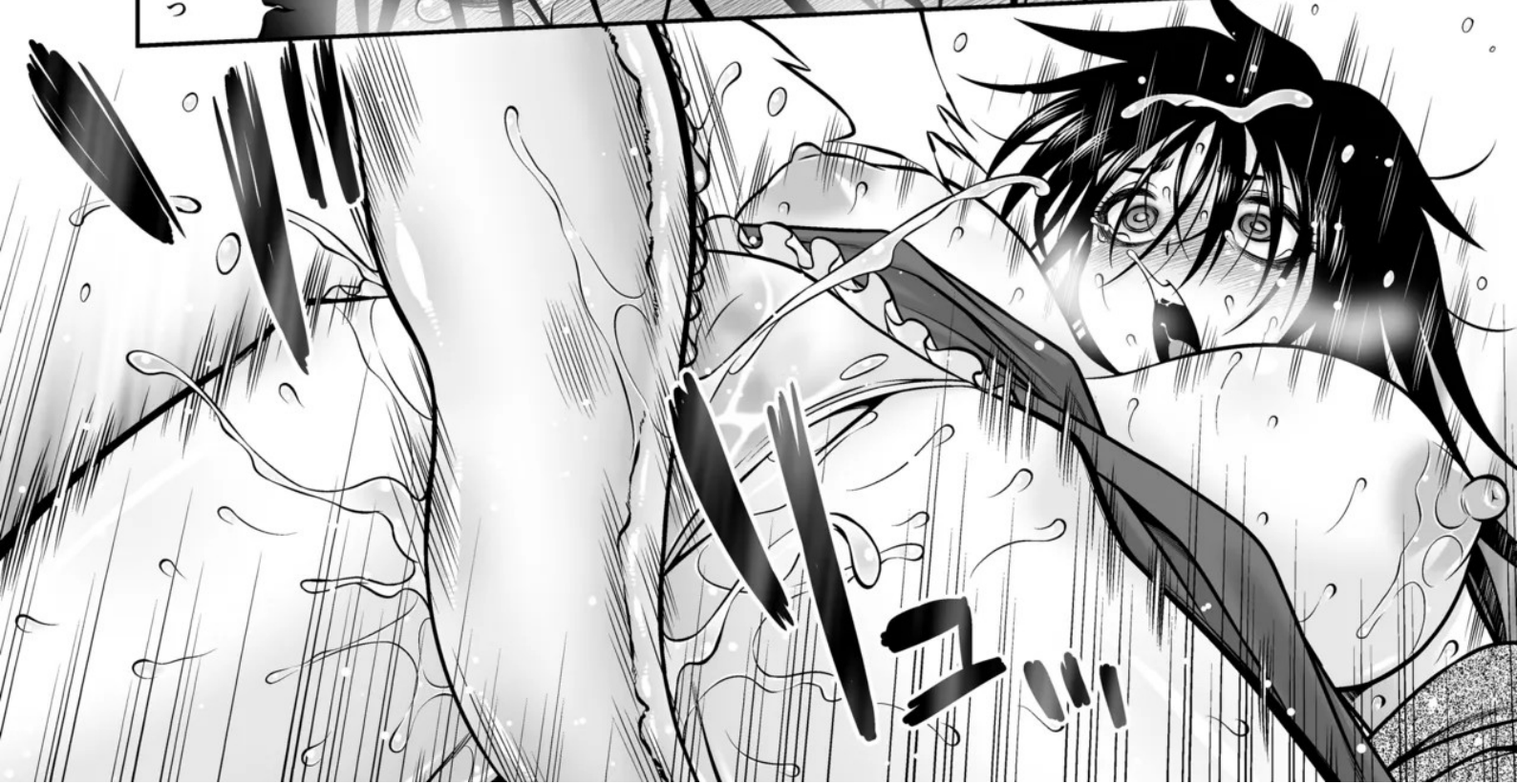
や...やめっ

ひっ

ひっ

ひっ

やめ...
でえ...



ぐっ

ぐっ

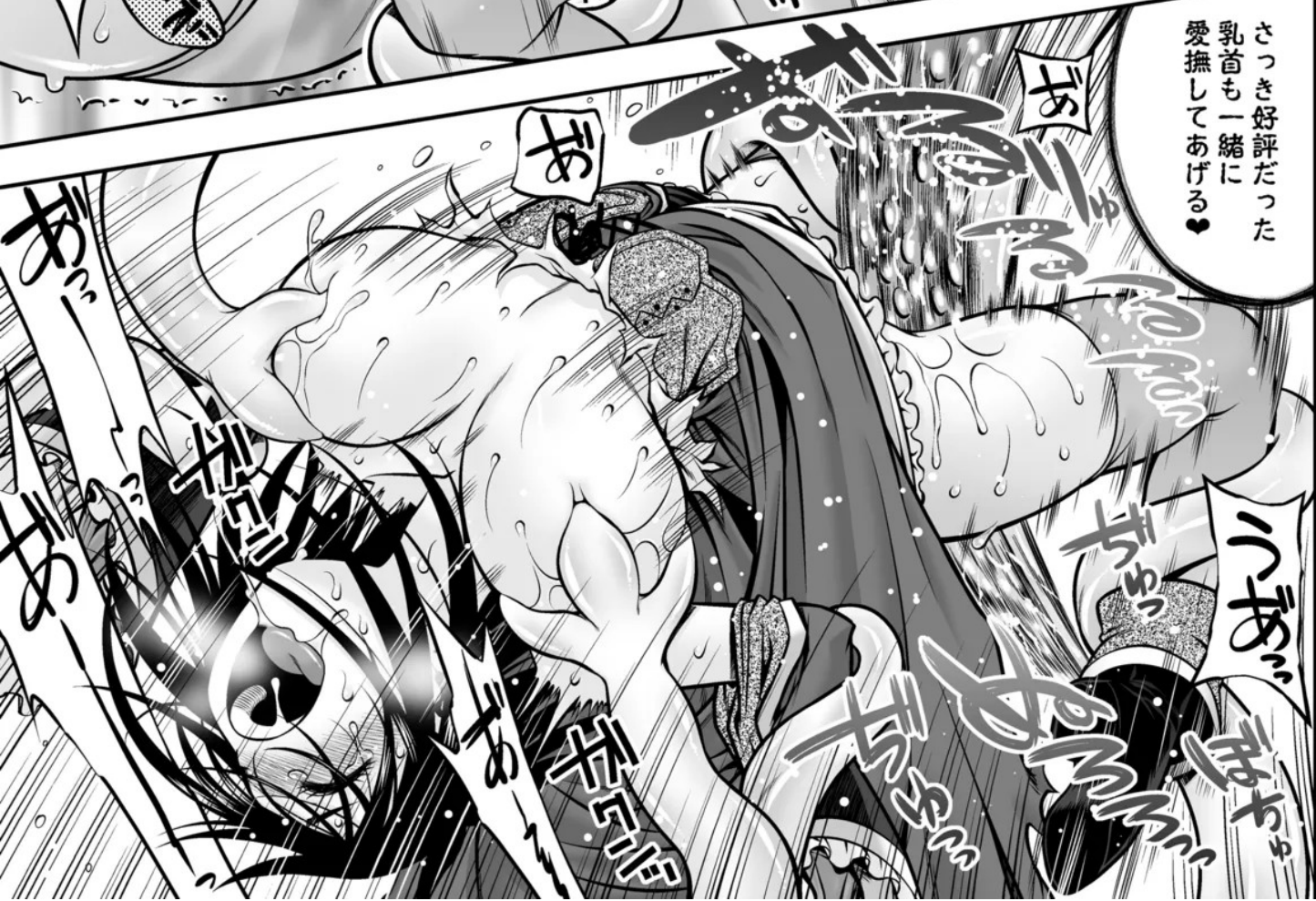


あつ
それじゃあ
もつとサーブスして
あげるわね

あつら
気につて
くれたあ?

ひがっ

ひがううっ



さつき好評だった
乳首も一緒に
愛撫してあげる♥

おっおっおっ

お

おっおっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

あっははははっ

あ...

ひ...あ

早くも
いっぱいいっぱい
って感じね

まだまだ
遊びたいんだから
もっと頑張って
くれなきゃ

あなた魔導に
通じているんでしょ？
もっと強く信じなさい

所詮は肉体を伴わない
精神と感覚だけの
偽りの世界...

ほら...
声に出して
強く念じなさい
次の責めなど
なんともないと

な...なんとも...
ない...っ

は...ん
なんとも
ない...っ

な...なんとも...っ

...なひっ

ひっ

なんともないっ

あ...っ

なん...ともっ

な...

汗もかかないし
濡れもない

あ...っ

ひっ

う...あ

どこを弄くられようと
どうということはない
さあ...下着脱いで

ひ.....

ひっ

あ...っ



あああああああつっ
無理ッ 無理無理無理
ムリイイイイッッ

もう信じられなひっ
耐えられるなんで
思えないいっつ

ゆるじでっ
ゆるじでえ
えええええッッ

ん〜
どうしよっかなあ…
そんなに許してほしい？

おっ
おねっ

おねがいじまずっ
おねがひじまずうううっ

んー…
そーねえ

このまま
精神よわよわの
クソ雑魚
魔法使いちゃんを
ただ虐めるだけ
つてのも
つまらないし…



チャンスを
あげる

さあまず
脱ぎ脱ぎ
しましようねえ

うあ…ぐすっ

えうっ

ひぐ

やああ…っ

んっふっふっ
ふっん♪



うああ…っ

ううっ



ほら：見なさい
触手を通して
あげたでしょ？

んおっ

一番奥まで
歩いて行って
ゴールしなさい

う
う
う…っ

それが
できたら
無事に
帰してあげる
でも…



ゴールできずに
音を上げたり

途中で跨いで
逃げようと
したりしたら

ぐっちよん
ぐっちよんに
犯し尽くすから
そのつもりでね



この突起…
触れてると
伸びてくる

ふっ

うっ

んっ…んっ…んっ

んっ…んっ

うっ…

んっ



まだ…
あんなに…っ

んっ…んっ

このまま伸びで！
いかれたりしたら
乗り越えられなく
なっちゃう…っ

ははははっ
しななっ

チキ
チキ
チキ



あ

そうそう



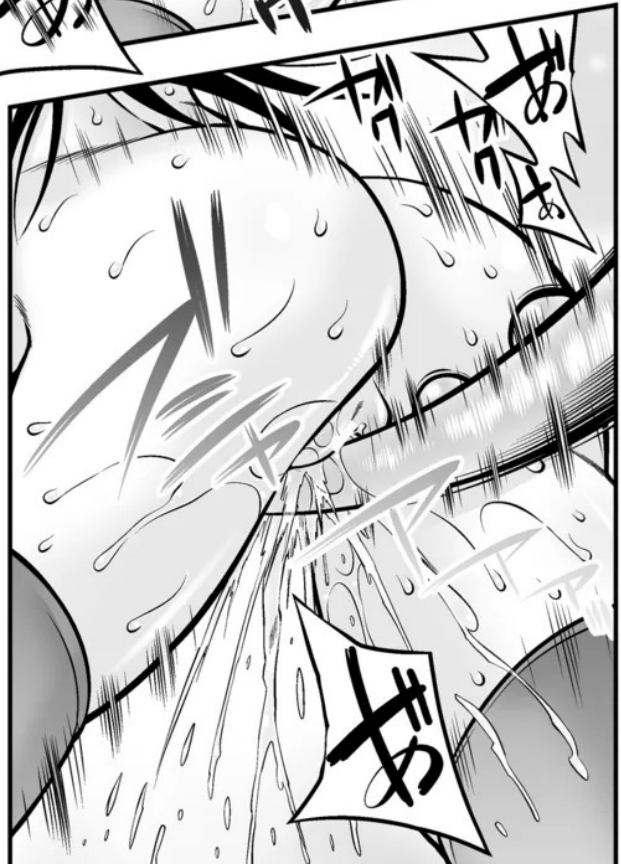
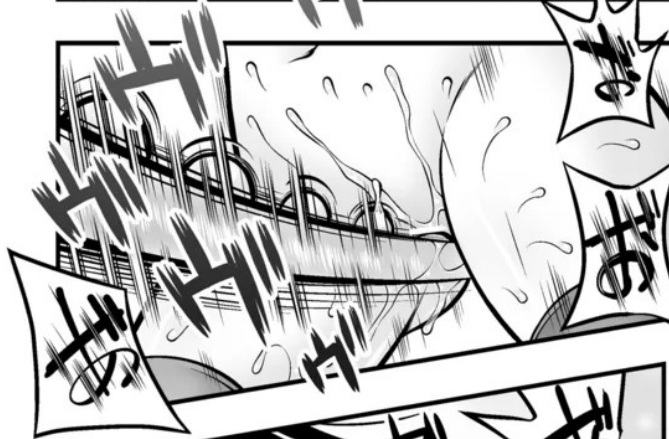
え…？

しんど…

そのあたり
すっごい
振動するから
気をつけてね♥

チキ
チキ

チキ



どめでええ
ええええっ







頭でっかち
うし乳よわわ
魔法使いちゃん
はあ

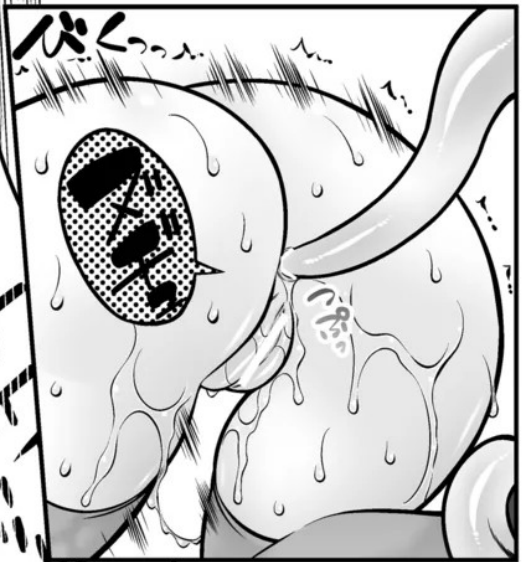
このままお仕置きじゃ
ちよつと
かわいいそうだし

サーピスで
ゴール付近まで
運んであげる

私って
やさしいでしょ



んー…そうねえ
綱渡りはフィジカル
クソ雑魚なあなたより
あの戦士っぽい子向き
だったかしらね



え…っ

まっで…
そごっ

おっっ

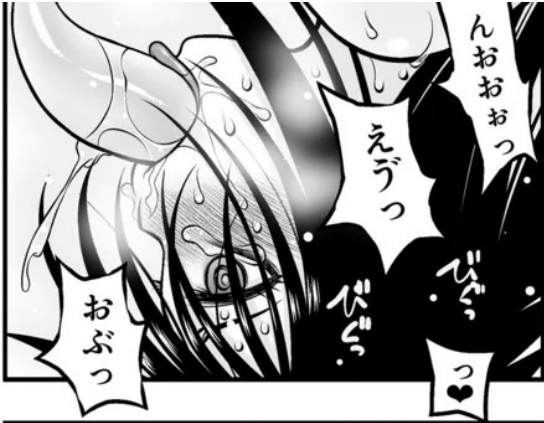


うううう
嘘だ……
こんな……こんなのう
息もできないわ！
すぐに死んでもおかしく
ないの……

なんでわたじっ
無事なのう
生きでるのう!!?

うふふーっ
不思議でしょー？







えぐっ

えうっ

あうっ



はあっ

あうっ

はっ



う

あうっ

ひう



ポ

ぐすっ

えぐっ

登れない……



登れないよお……

登れないひっっ



ぐすっ

ぶる

うう……っ

登れ……ない……っ



いつまでも
もぞもぞ
やってんのお？

必死すぎて
愛らしいけどお

眺めてるの
飽きてきちやったから
そろそろ
締め切っちゃうよー？

あ……っ
ま……まって……
まって……っ

ほらじゅーうっ

きゅーうっ

ろーく

お
お

まっで……
まっでぐだろ……っ

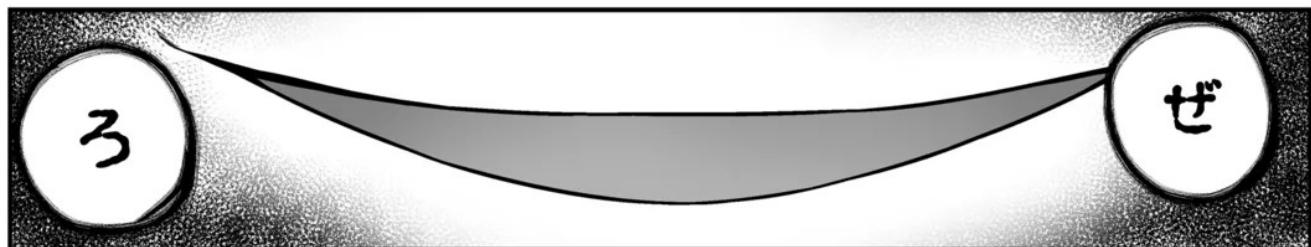
ごーお

にーい

まっでえ……っ

まっで……
まっでえええ……っ

いーち



ろ

ぜ



ま……っ



ぶっぶーう

まっで……っ
今登るがら……っ

時間切れでーす

ぜっだい
登るがらあっ



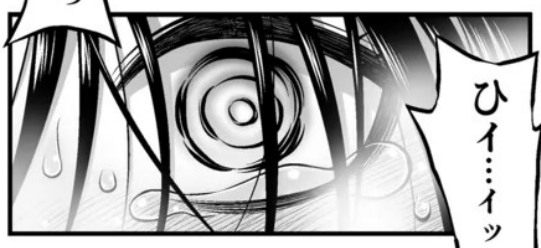
腕…っ
振り
ほどけない…っ

身体…も…っ
固定
されて…っ



ひっ

はひっ



ひい…いッ



もが…っ

うおっ

アッ

アッ

アッ



不意に

何事か

何事か

何事か

何事か

何事か

何事か

何事か

何事か

何事か

何事か

何事か

何事か

あはははっ
漏らしちゃった
股ゆるすぎいー♥

おっ

んおおっ

でも庭なら
脱水症状も
起こらないから
いくらでも好きなだけ
うれシヨン
していいよ

おぼっ

おっ
ごっ
っ

んぶうっ

あー
反応が新鮮で
嬉しく
なっちゃうなあ

おっ

おっ

うざっ



あ…

うあ…っ

びく

びく

びく

う…

びく

びく

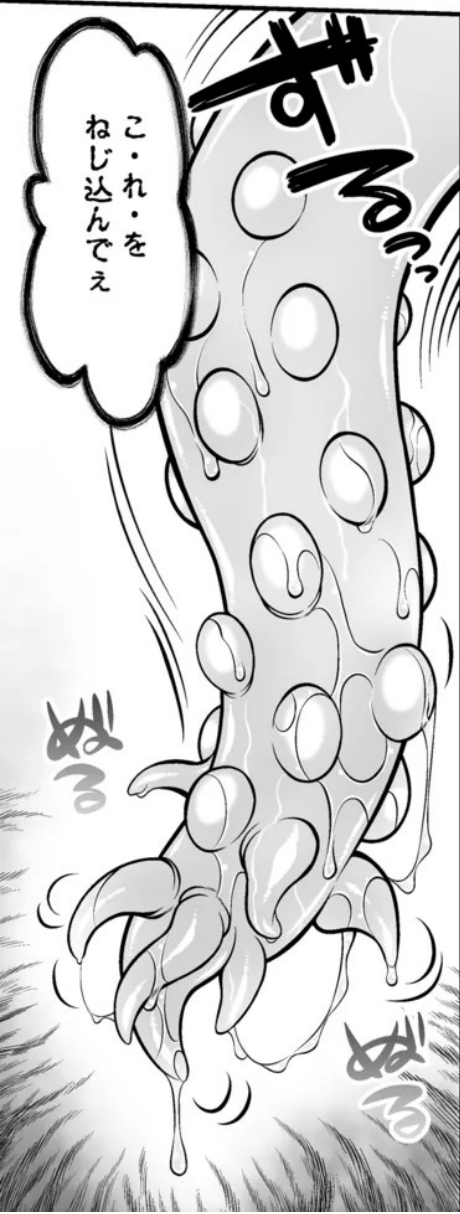
びく

びく

びく

…っ

あ…っ



こ・れ・を
ねじ込んでえ



気持ちよく
呆けてる
ようだけども

本番は
こ・れ・か・ら
だよ♡



さあ足を上げて
お股開きましようね〜

あ…も…っ
もう…ゆる…て
くだしやひ…っ

びく

あははははっ
なに言ってるんのよお

まだ一回もマンコ
使っていないのに
終わりなわけ
ないじゃ〜ん



ごりっごりに
ほじくって腔内^{なか}
舐め回して擦り上げて
たあっぷり開発して
あげるんだから♡

オシロイ

ひっ
ひっ
ひっ

ひっ
ひっ
ひっ

やめっ

やめでっ



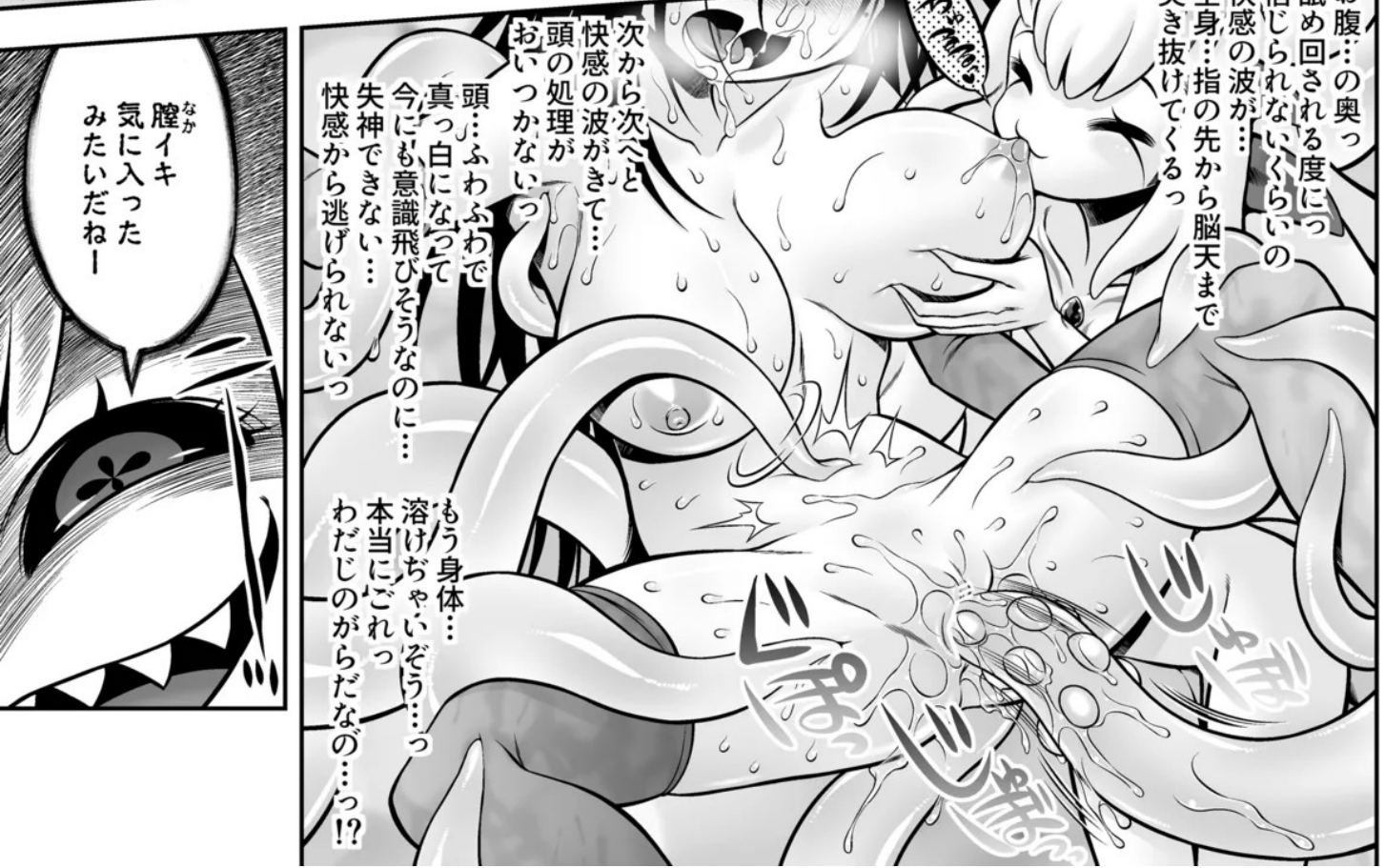
だいじょーぶ
だいじょーぶ

すーぐに
腰抜けるほど
気持ちよーくして
あげるから♡

ね♡

んおっ

ちゅっ
やっ
やっ





もう反射的に
腰へこっちゃって
かわいい♡
あなた本当に
いい反応するわね

はっ

かはっ

はひっ

…んん？

は…あ

あつれえ〜？

ひよっとしてあなた
ひと突きごとに
達しちやってない？

はひいっ



どれどれ
いーれてえ

ぬーいてえ

んああ

あはあ
ひと突きどころか
ひと擦りだけで
達してるーっ
雑魚すぎ♡

でも仕方ないかあ
生身なら軽く十回は
意識ぶっ飛んでるくらい
気持ちいいもんね♡



むりいイ…ツ

ぞんなどころ
はいらなひっ

むり…っ

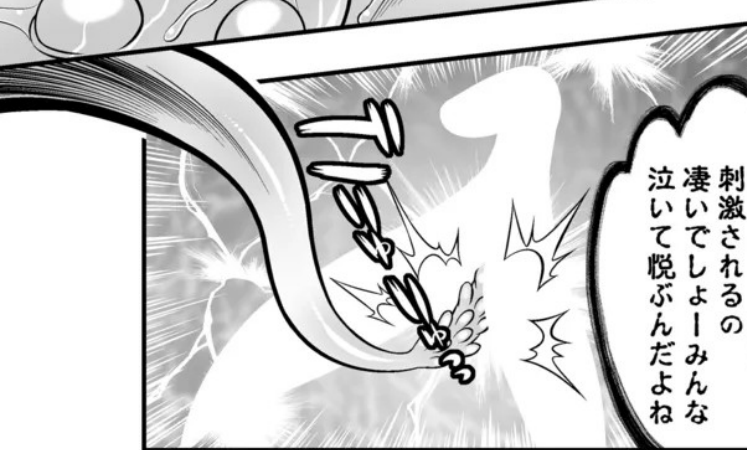


そ・れ・じゃ・あ

はっ
ひ

さつき
大好評だったおっぱいと
クリトリスとお尻：
あとついでに尿道も
ほじくっちやおっかなあ

無理ッ
ひぬっ



あつ
いーい反応♥
尿道
好きなんだ？

クリの根本の神経の
集まってる場所を
刺激されるの
凄いでしょーみんな
泣いて悦ぶんだよね



おあつ

おんおん
おんおん



はい
左乳首

お



それじゃあ
順番にい

やえ…っ

ひえあ

うあつ

スポーツとポルチオ
延々舐め回されて
中イキ決めながらのお

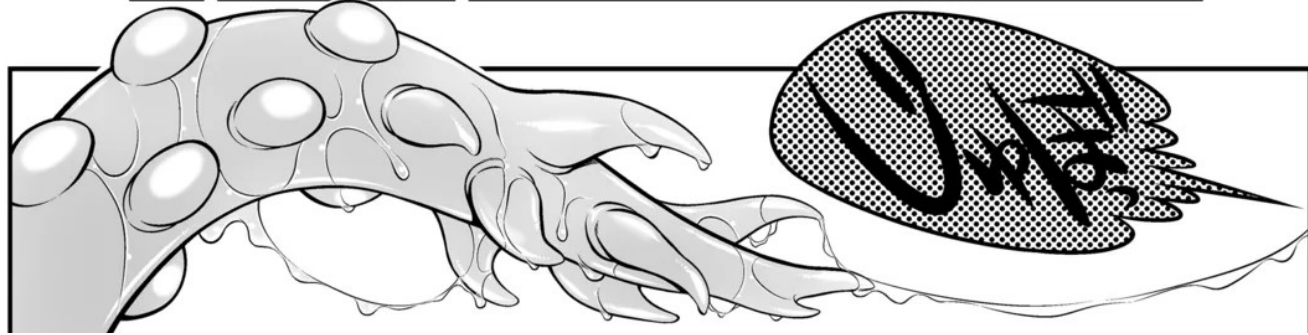
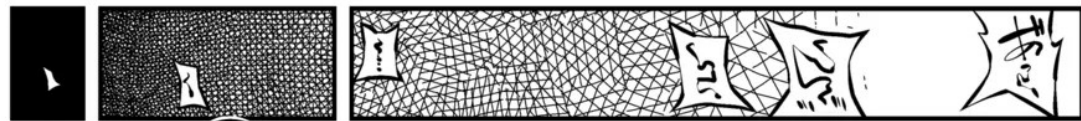
クソ雑魚木デイの
連続イキ記録作っちやおーっ

はあっ

ひっ

ひっ

ひっ





あっは

はへっ

んあ

お…

うあ…

抜いてもずっと
痙攣してるー

あれれ？

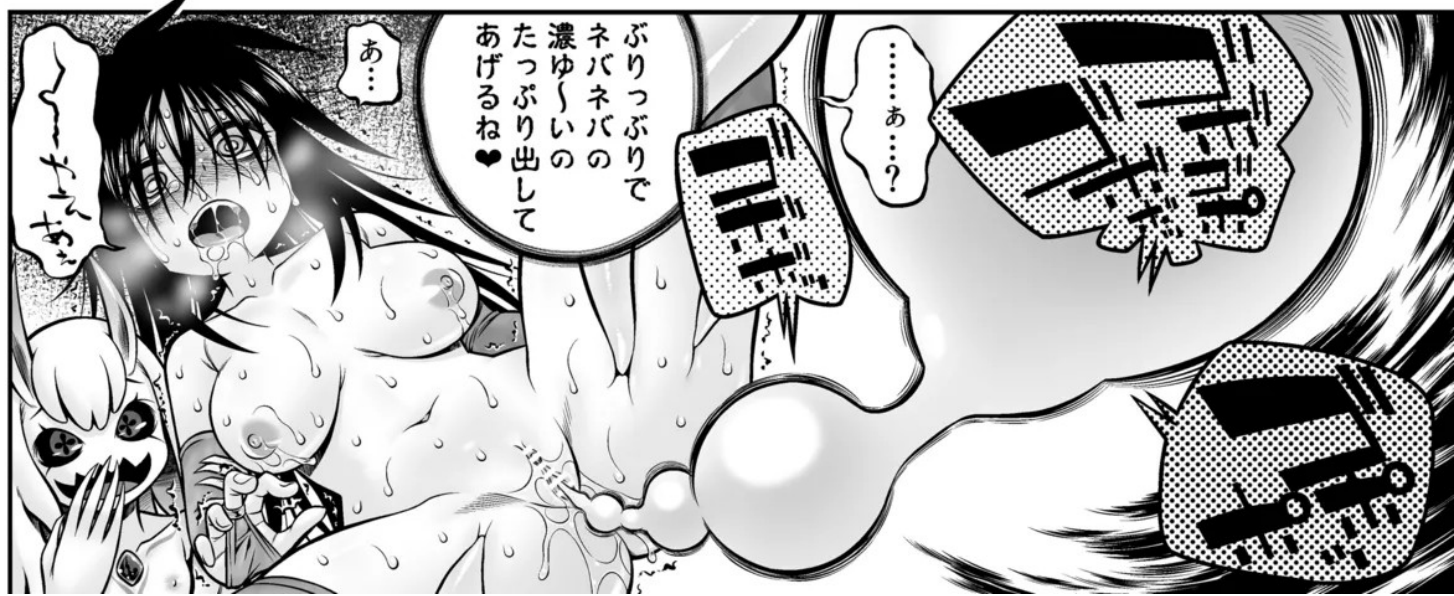
ねえ

ねえってば
ちよっと

もうへばっちゃったのあ？

それじゃ
気付けして
あげなくっちゃ
だね

あ

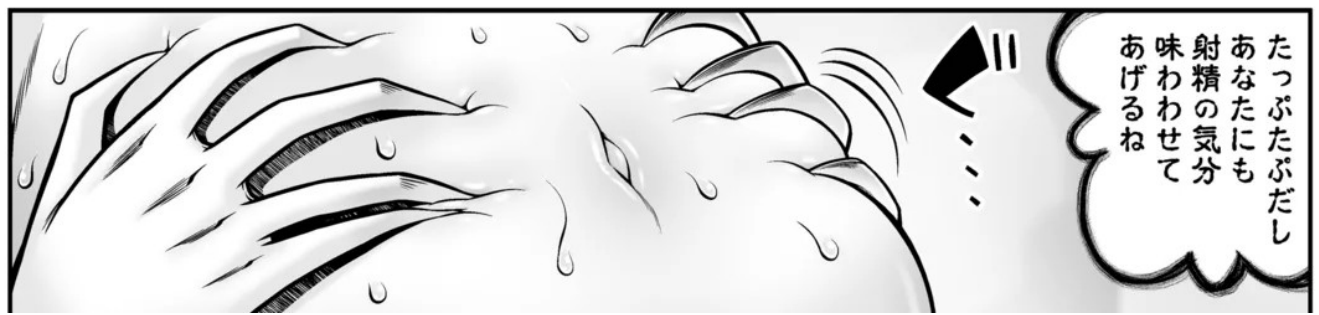


あ…？

ぶりっぶり
で
ネバネバの
濃ゆいの
たっぶり出して
あげるね♥

あ…

あ…





お...

お...

お...

お...

お...



お...

お...

お...

お...

お...



あなたが
誰かを愛し
まくわい
得たであろう
快感の

あへ
あ…♡
びしょ
びしょ
その一生分より
たくさん
の快感を
一気に
味わ
っちゃったねえ

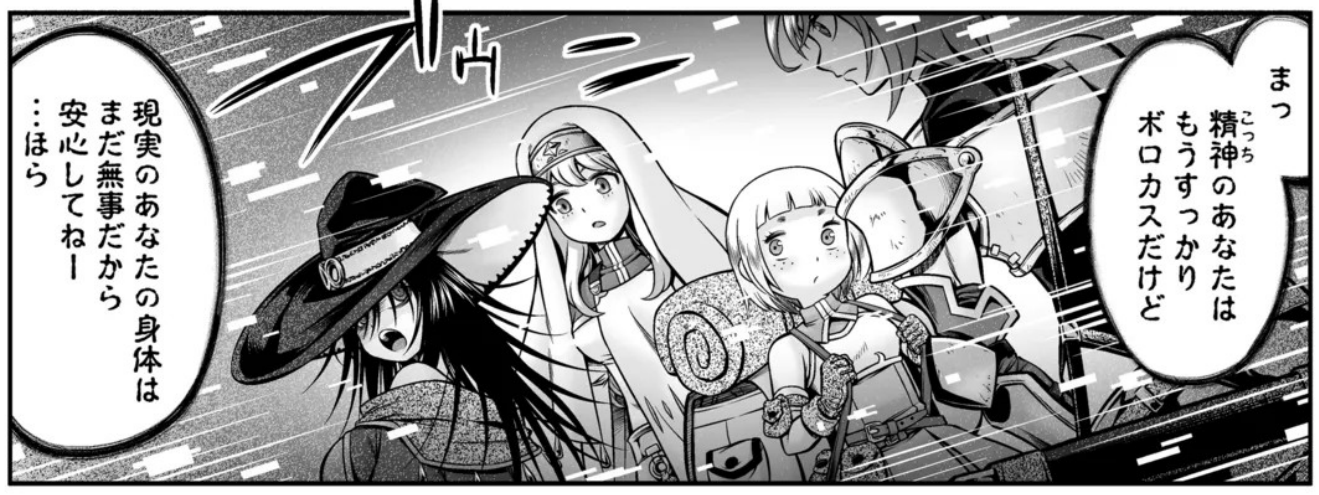
びしょ



気づ
けして
あげた
のに
ぐずぐ
ずかあ…
久々の
新しい
玩具だ
から
ちよつ
とはし
やぎす
ぎた
かなあ



いったん
お開
きに
しよ
うかし
らねー



まっ
こち
精神の
あなた
は
もう
すっ
かり
ボロ
カス
だけ
ど

現実
のあ
なた
の身
体は
まだ
無事
だか
ら
安
心し
てね
ー
…ほ
ら

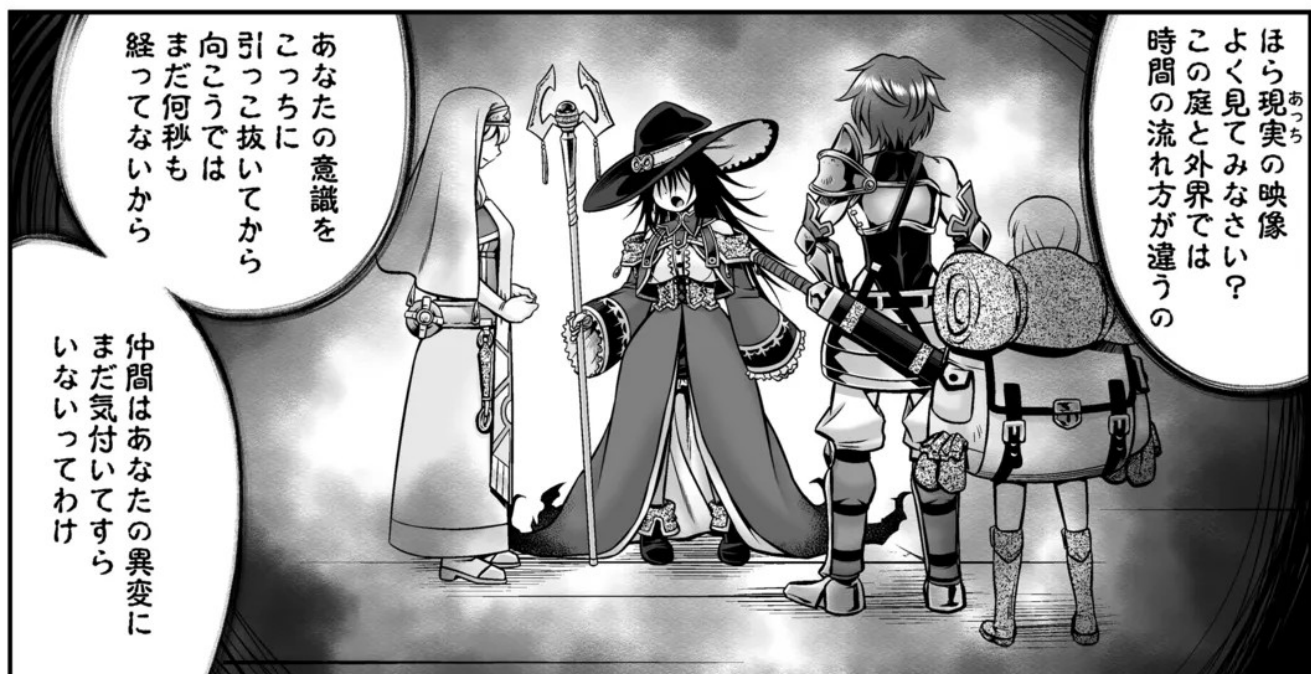
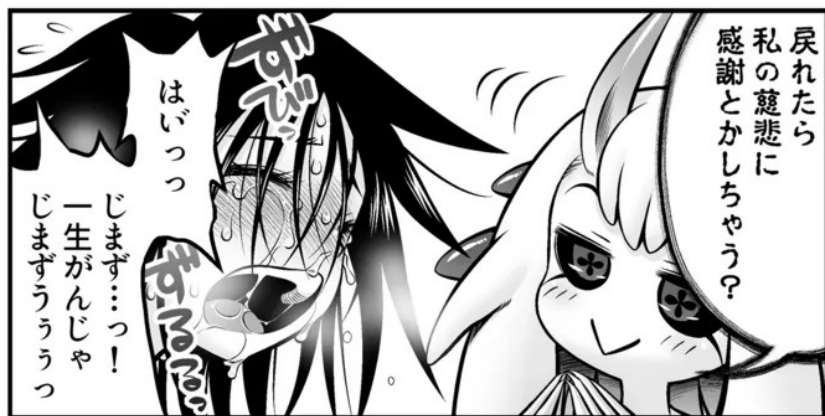


あ…
み…
んな…

た…
たす…
げで…
みん
なっ
だす
げで…

だす
げ…
えう
っ…
…か…
がえ…
じで…

みん
なの
っ
どご
ろに
がえ
じで
え…
っ





向こうに戻したら
こっちでの体験が
現実の数秒に圧縮されて
還元されるから

え……え……
気をつけてね？

え？

え……？

数秒で体験しちゃう
人生何分もの絶頂なんて
もう想像もできないよね〜

え……あつ

……は……え？



でもだいじょーぶ

ま……ま……

ま……

どうなっちゃうかは
すぐに分かるからね♥



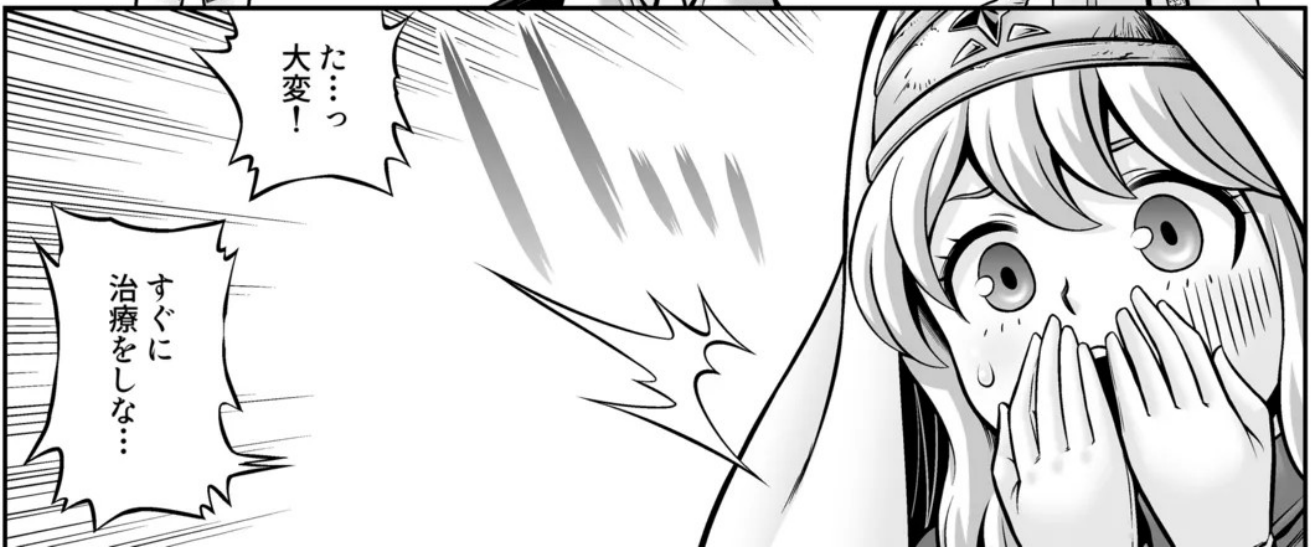
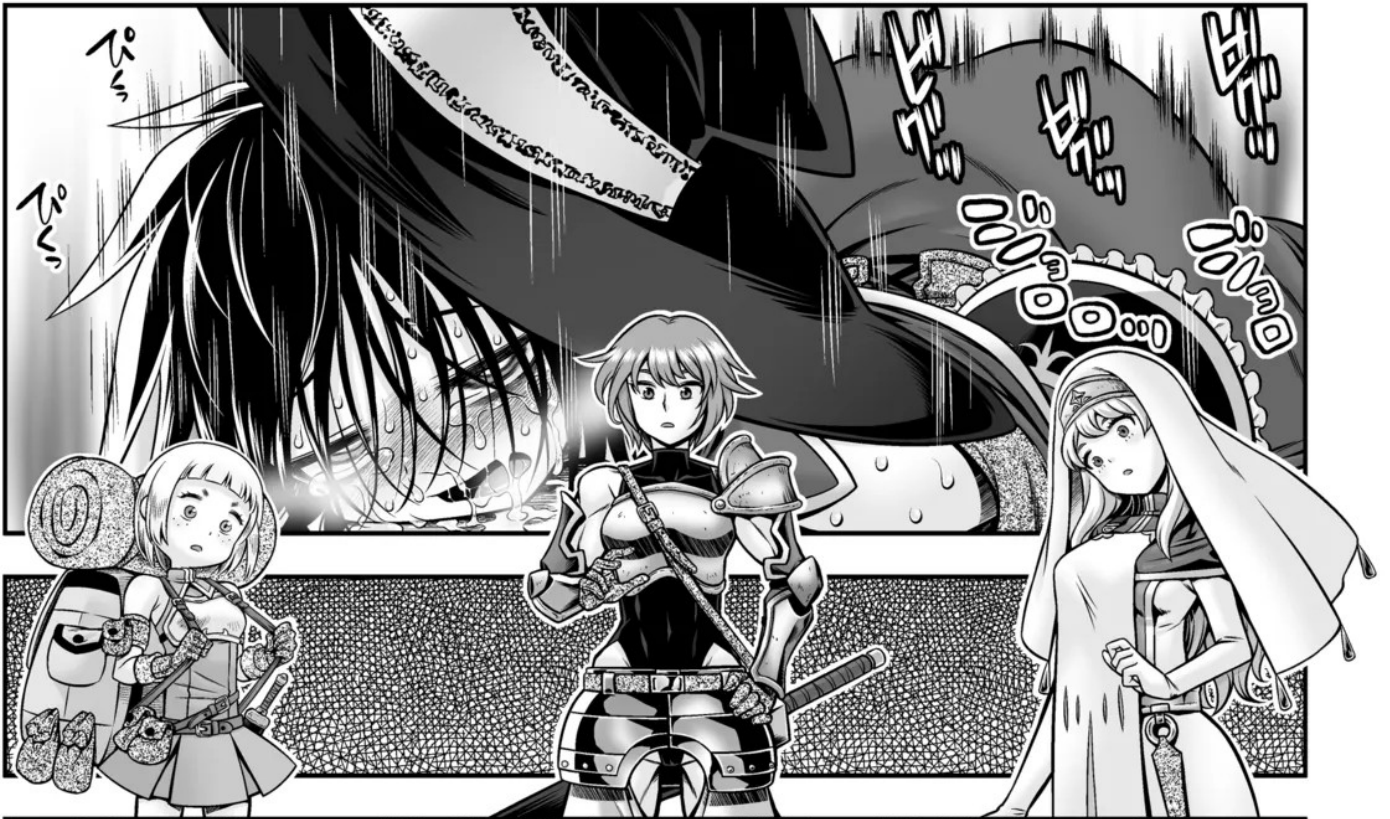
ま……！

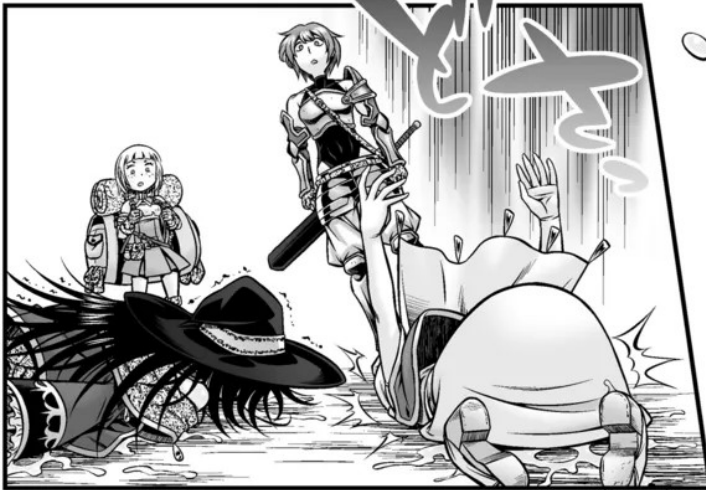
ま……
ま……
ま……
ぐ……

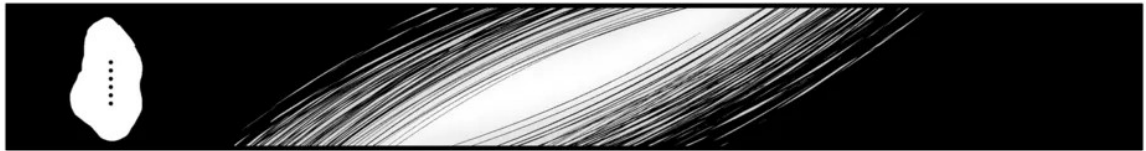
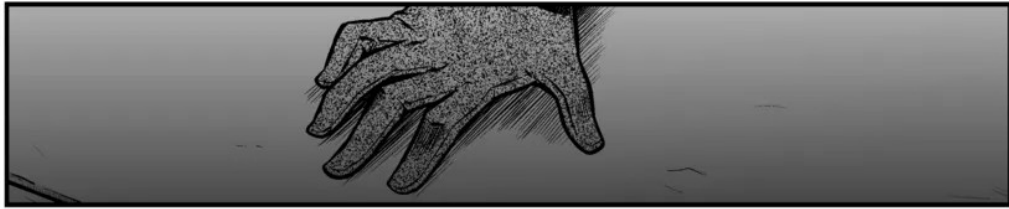
やめでやめで
やめでま……
ま……
ま……









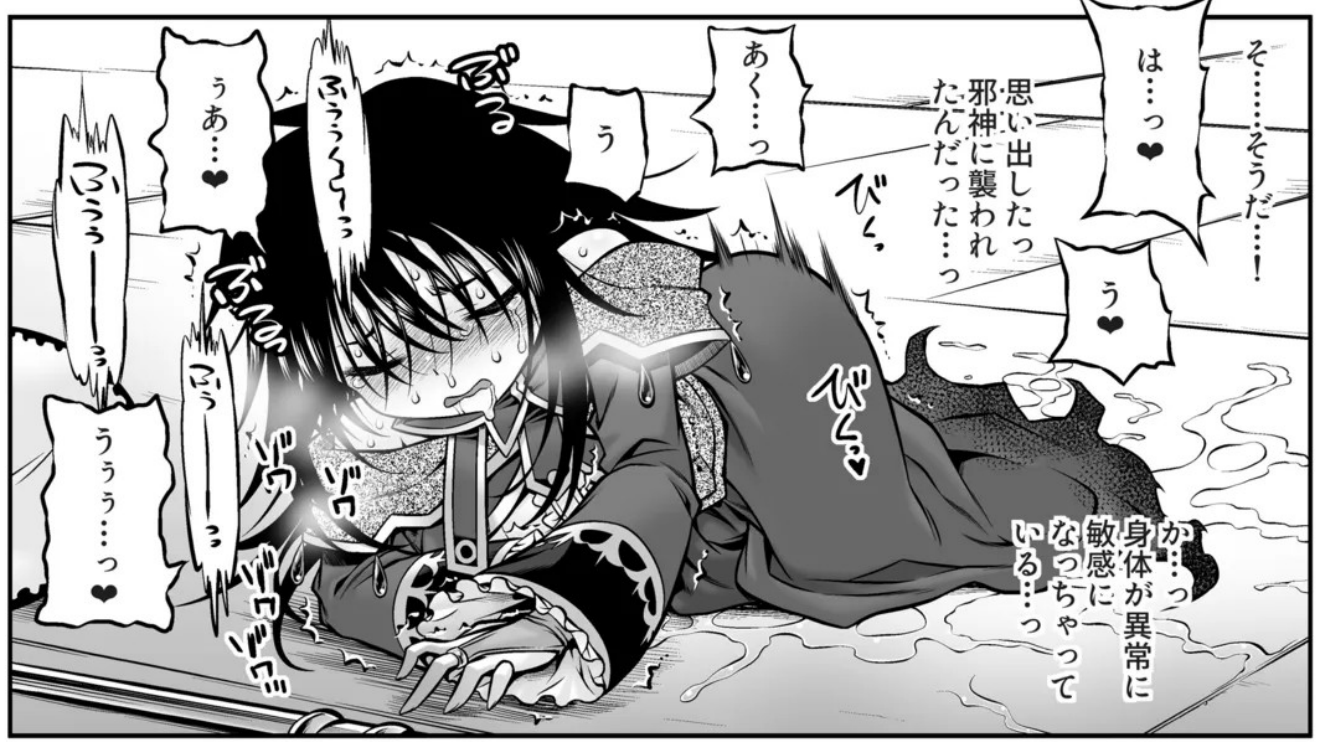




私...っ
な...なんで
こんなところで
気を失って...



あううう ♡



思い出したっ
邪神に襲われ
たんだっ...

そ...そうだ!
は...っ ♡
う ♡

か...っ
身体が異常に
敏感になっ
ちゃって
いる...っ



に...
逃げなくちゃ...



身体に…
力が入らない…



あぐ…ううう



は…はや…く…
遠くへ…う



いかに古の邪神でも
封印下の身では
掌握できる空間を
展開するにも
限度があるはず…

な…なんとか
少しでも
中心から
離れないと…

みんなも
倒れている…
きつと私と同じ目に
遭わされたんだ…



ふぐう

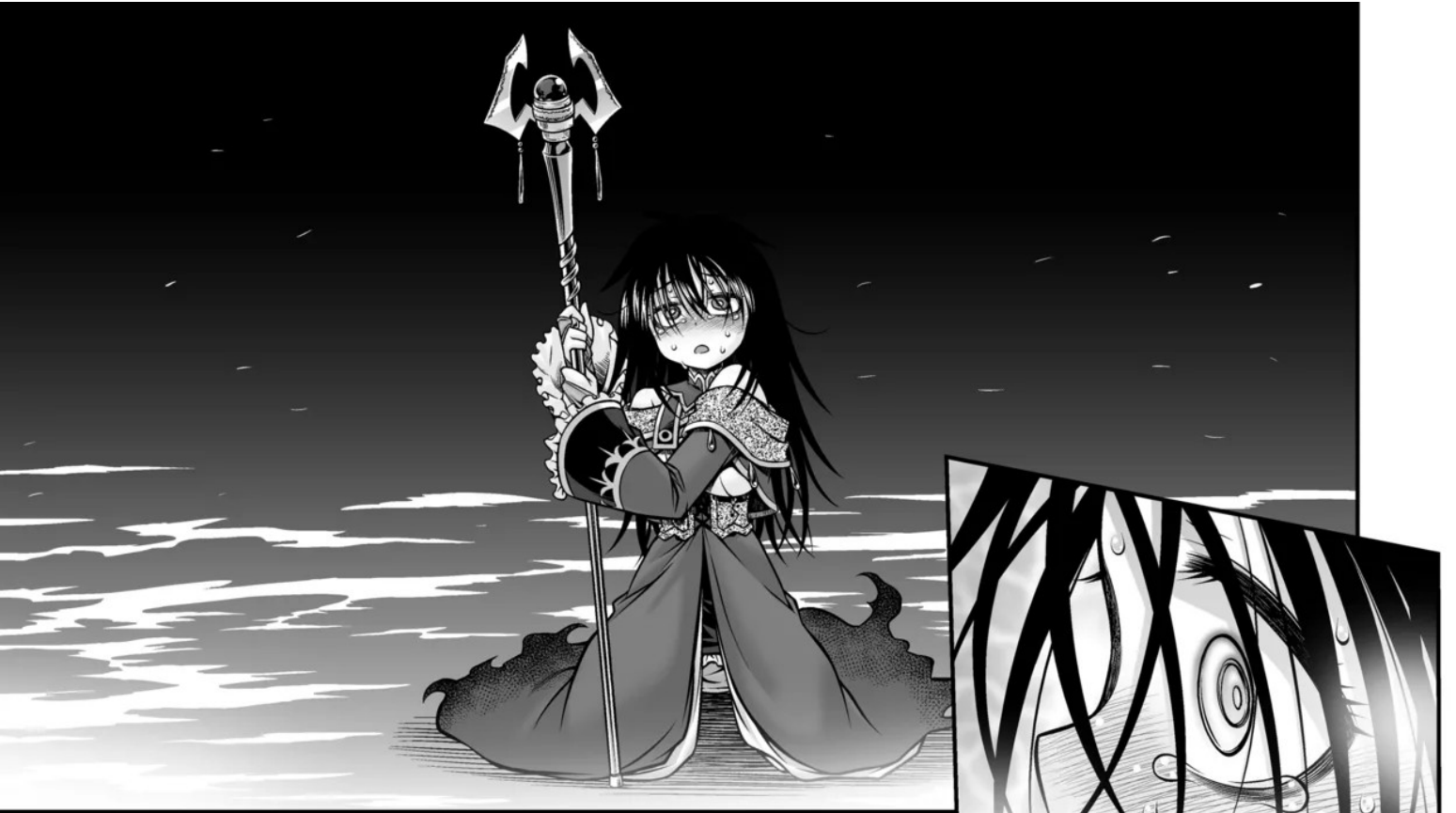
ううう…う



助けるにも
まず私が結界の
範囲外まで
出なければ…

う…くう

は…はや…く…
まだ
捕われてしまっ
前目







ほらどーお？
これ

んああっ♡

んむううっ

っっ

あっ

お

お

んおおおおっ

んぶううっ

げっ

んあ♡

あっ

おお

おっ

みんなかわいいでしょー？

あうあっ

この子たちは
遠く神代の時代
神々と精霊の
力を借りて
私をこの地に
縛り付け封じた
神官とその
巫女たちよ



かはっ

おっ

ごぼっ

げぼっ

お

お

っ

んごおっ

はあっ

見ての通り
今は私の
可愛い愛玩動物
だけれど♡

ぐっ

ちよーつと戯れに
国をふたつみつつ
滅ぼしただけなのに
寄ってたかって
封印されちゃったの

封じられて
動けなくなっちゃったし
力もほとんど行使
できなくされちゃって
散々よお

だから私の残りの
全権能を注ぎ込んで
創ったのがこの「庭」

今のあなたは
意識と感覚だけを
ここに連れてこられて
いるけれど

この子たちは
魂ごとこの庭の
虜なのよ

最初は腹いせに
手足を引きちぎったり
目玉を穿ったり
ハラワタを食い干切ったり
していたんだけれど…

苦痛では元々
死を賭して挑んできた
この子たちには
いまいち効果なくてね

あなたも
知っての通り
心を殺して
全ての希望を
捨ててしまえば
この庭では
なにも感じない

…けど
終わりのない
苦痛のその後には
味わう快感への
反応は違った…

はじめは
ほんの軽い気まぐれで
普段とは違うことを
してみようと思いついて
苦痛とは真逆の
快感をあげてみたの

あ♡
そしたら
あら不思議

みんなほんの少しでも
快感を…幸せを覚えたら
それが忘れられなく
なっちゃったの♡

あとは
転げるように
この有様♥

もう決して
快感からは
逃れられない

お……ご……ご……

なにが愉快かって
苦痛で
のたうつとは
違っていろんな
反応が楽しめるって
ところね

あなたが最初っから
気持ちよーくして
もらえたのは
この先輩たちのおかげよ
偉大な先入たちに感謝！
だね！

この二人は当時
大陸一と謳われた
神官とその妹巫女よ

私を封じた張本人たち♥

おに……ごま……

うぼおっ
おぼおっ

この娘
実はすっとお兄様を
慕ってたんですって

だからこうして
想いを遂げさせて
あげてるのよお

ほらちゃんと
ちゅーして

もうすつとひとつに
繋げて膣内射精
させ続けてあげてるの
幸せそうでしょ？

こっちの娘は
てんで
ダメダメだね

真っ先に降参して
私に媚を売るのよ
誇り高き巫女に
あるまじきでしょ？

だからお仕置きに
すっといキッばなしの
刑を受けさせてるんだ

もう何百年も
潮吹きっぱなしで
ほとんど噴水ね♥

あっ

そうそう！
みてみてーっ

こっちのこの子はね
一番のお気に入りなの♡

今日は
気分がいいから
久しぶりにお話
しよっかな

この中で
一番幼くて

純真で潔癖で
でもすっごく
意志が強くて
一番我慢強いのよお

やつほー久しぶり

だから
一切愛撫なしのまま
特濃のガスだけを
ずっずっずっずうっ
何百年も吸わせて
あげてるの

流れ落ちる汗が
性感帯を通ると
身体を震わせて
可愛いんだあ♡

お加減
どーお？



お…っ
おかつ
犯じで
ぐだひゃひっ

おね…が…
じまず…っ

…お…っ



あ…
あ…
あ…



ぶわっ



おながっ
切なぐで
どうにかなっで
じまいますっ

わだじもっ
イかせでぐだじゃひっ
おまんごっ
ほじぐっでぐだひゃいっ

どうか…どうがっ
いか…いがぜっ
イがぜでぐださいいひっ

うええっ

えっぐっ

えぐっ

ひっく

ぶっ



だからっ
だからどうがっ

お情けを…
お情けを
ぐだじやい…っ

お慈悲を
ぐだぢやいませ…っ

頭を垂れますっ



あ…っ
貴方様に仕えますっ

ひぐっ

に…にど…とっ
二度と
逆らいません…っ

跪ぎまじゆっ

足をなめますっ
尽くしますがらっ

忠誠を誓いますっ

ひっ

ひっ



カ
カ
カ



どうか…っ
お慈悲を
おお…っ

ひぐっ



あつちのかーんたんに
墮ちちゃった
淫売のお姉さんの
真似をしたのかな？

あなたは
あんなビッチとは
違うんだから
耐えなくちゃ

あうっ
無理…
もう無理イ…っ



ああんダメダメッ
駄目よお

誇り高いあなたは
もっと気丈に
振る舞わなくっちゃ

ひうげ

カ
カ
カ

うふふふつ
でも今日は
気分がいいからあ

あ…♡

特別に乳首を
カリカリして
あげちゃおっかな

だけどこの子は
私の許可なしには
絶対にイケないの

何故なら
そうなのだ
信じてしまったから

うええっ

イガゼ
でえ…っ
たとえマンコ
ぐちやぐちやに
ほじくられても

どーおお？
嬉しい？

どんなに落けてても
限界まで快感が
せり上がっても

うああ…♡

潮を吹こうが
おもらししようが
絶頂何百何千何万回分の
快感を受けてても

ほら…

引っ掻かれるたびに
どんどん
感度が増えていく…

もう爆発寸前…

ぜええええええ
ったいに
絶頂できなくて

快感が
ずつとずつと
ずうううーつと
蓄積されていく
だけなのよ♡



そうなれば
死ぬことも
許されず永遠に
私の慰み者♥



同じ運命を
たどることに
なっちゃう
わよ〜？

見ての通り
私が魂に
干渉できるくらい
あなたが
弱っちゃったら

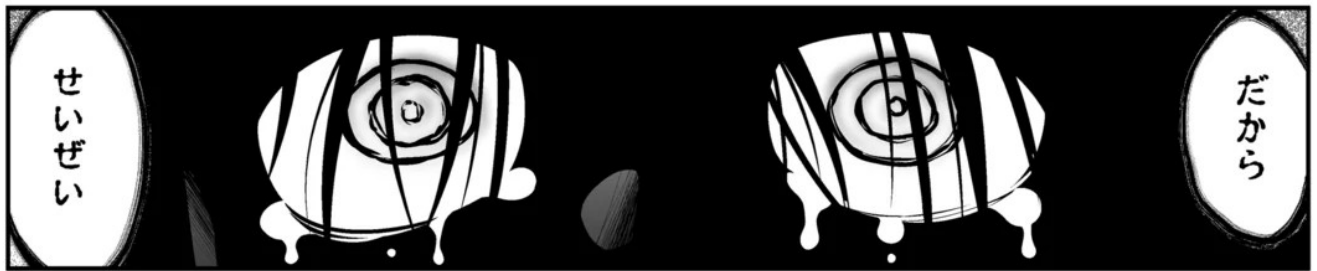


でもまだ
あなた達には
助かるチャンスが
あるわ

「庭」を封印の外まで
展開してられるのは
せいぜい三日が
限度だし

範囲も
あの部屋を
覆う程度

部屋の外まで
逃げ切れれば
あなた達は
助かるのよ



だから

せいぜい



がんばって

ね

さーて
今度はなに
して遊ぼっ
かなー

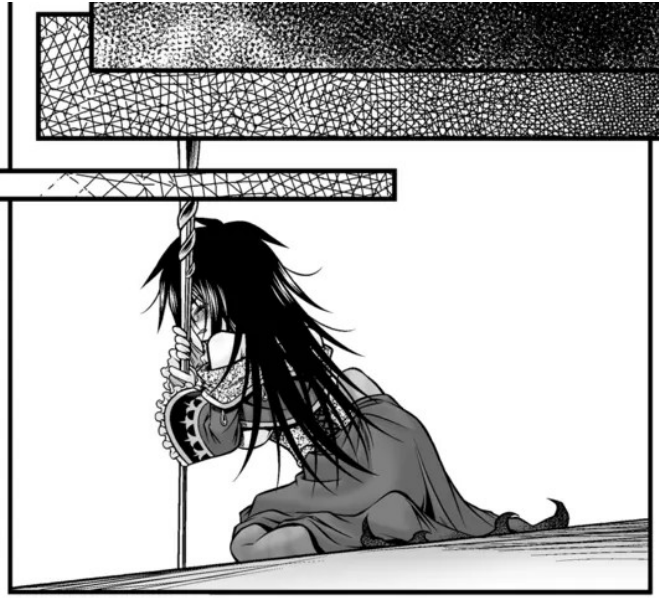
さつき床を
のたうって
るの可愛
かったか
らあ全
身クリト
リス並の
感度にし
ちゃう
ってのも
いいなあ

あっ

せっかく
おっぱい
大きいん
だし母
乳垂れ流
しに
なるま
で開発し
てミル
クタンク
にする
のもいい
な

あなた
はど
っちが
いい？





あとがき

お久しぶりです。はじめての方ははじめまして。南☆です。

近年一冊描くのにあまりにも時間がかかっているのだからこれはいかん！
短い期間で描けそうな少ないページ数の単話のものを一本描こう！ と思い立ってはや一年。
期間もページ数もおかしなことになってしまいました。こいつもうだめだ。
とにもかくにもまた長ったらしい感じになってしまいました楽しんでいただければ幸いです。

それはそうと、作業通話をしている際に知り合いに、
「その人外娘ちゃんはいつ犯されるんですか？」
と聞かれて、そういえばこいつこんなにイキり散らかしているのになんでファックされないんだろう？
と途中からずっと悶々としながら描いていました。

次回作ですが、予定では聖女様本の続きですが、最近良さげな話をいくつか思いついて
新しく考えたこともありそちらに後ろ髪を惹かれまくっています。5人くらいに分身したいです。

ではでは、どうなるかわかりませんがまた次回作でお会いできれば幸いです。

登場人物紹介



魔法使い

そこそこ高位の魔術師
出不精で自前の研究工房に籠もりきりだったが、
冒険者たちでは調合素材の見分けがつかないため渋々同行。
文献で得る知識と実体験で得られる知見の差を知り、
以降冒険に同行するようになる。
仲間と冒険するのが楽しい！ これからも未知の体験ができる予感…！



剣士

英雄譚に憧れて冒険者になる。
腕っぷしに自信があり、
そこらの男には引けを取らない。
チームの盾となり剣となり肉弾戦を
一手に引き受ける頼れるリーダー。
いつか竜や魔族にも剣を届かせてみせる…！

僧侶

たまたま行き倒れていた負傷中の剣士を治療し
半ば強引に勧誘され冒険に出ることに。
浮世離れしておりしばしば頓珍漢なことをして
仲間を困らせることも。
お人好しですぐに人の話を信じてしまう。



スカウト兼荷物持ち

罫鑑定と解錠はお手の物。
戦闘は仲間に丸投げで
さっさと身を隠してしまう。
金勘定にうるさくがめつい。

- 誌名 : 邪神の庭
- 発行 : かぜうま
- 発行者 : 南☆
- 発行日 : 2025年10月18日
- 連絡 : isogai@big.or.jp

※未成年者の所持閲覧を固く禁じます
※無断転載・複製、
ネット上へのアップロードを禁じます